

全国5会場巡回展

The Essence of

フィンランドのくらしとデザイン

Finnish Design

ムーミンが住む森の生活

and Culture

Mythology, Moomin,
and People in the Intimate Wilderness

2012年4月7日[土] - 6月3日[日] 青森県立美術館
6月10日[日] - 8月26日[日] 宇都宮美術館
9月1日[土] - 10月8日[月・祝] 静岡市美術館
10月19日[金] - 12月24日[月・祝] 長崎県美術館
2013年1月10日[木] - 3月10日[日] 兵庫県立美術館

後援
フィンランド大使館、フィンランドセンター

特別協力
フィンエア

協力
アルテック社、イッタラ(フィスカース・グループ)、株式会社スキャンデックス、
マリメッコ社、株式会社ルック、株式会社タトル・モリ エイジェンシー、
社団法人日本フィンランド協会、小海フィンランド協会、株式会社竹尾

企画・運営協力
株式会社キュレーターズ

企画協力
宇都宮美術館

日本史上最大のフィンランドの展覧会、この春公開。

20世紀のデザイン史において揺るぎない評価を得ている北欧デザインの中でも、フィンランドのモダン・デザインは独自の位置と人気を確立しています。年齢や性別、嗜好に限定されず、誰からも好まれるその「グッド・デザイン」は、1950年代以降、国際的に注目を浴びて、以後の世界のデザイン・シーンに大きな影響を及ぼしました。モダン・デザインの黄金期を彩ったデザイナーやブランドの製品をはじめ、絵画、文学、建築、工芸など多分野に及ぶ作品約350点で構成される本展覧会では、これを生み出す背景となったフィンランドの自然やライフスタイルを象徴する存在として「ムーミン」に注目、世界中で愛されているトーヴェ・ヤンソンが創造した物語『ムーミン』に描かれた森の生活の中から、フィンランドのくらしやデザインのキーワードを探ります。また、19世紀末から20世紀前半のナショナル・ロマンティズムの動向を示す、画家アクセリ＝ガレン・カレラやベッカ・ハロネン、建築家エリエル・サーリネンらの作品を展示、作家たちが創造の源泉とした「スオミ(=フィンランド)」の風景や民族叙事詩『カレワラ』の神話的世界など、後のモダン・デザインへとつながっていくフィンランドの精神に迫ります。さらに、展覧会のエピローグとなる第3章では、公共交通デザインやエコ住宅といった2000年代以降の最新の取り組みも紹介、今日まで継承されるフィンランドの「グッド・デザイン」の系譜を展覧します。

1. フィンランド・デザインの黎明～森に育まれたナショナリズムと近代～

19世紀末を出発点とする第1章では、フィンランドの国民的画家アクセリ＝ガレン＝カレラやその他の作家による、民族叙事詩『カレワラ』を主題とした絵画を紹介し、ナショナル・ロマンティズムを生み出したフィンランドの精神と世界観を探ります。また、ベッカ・ハロネン、エーロ・カールネフェルトらの作品を通じて、スオミ(=フィンランド)の四季の風景や自然とともにある人々のくらしを紹介します。



1. ベッカ・ハロネン《冬の松》

2. アンティ・ファヴェン《夏至祭の踊り》

3. アクセリ＝ガレン＝カレラ《大カレワラのためのデザイン原画》

4. アクセリ＝ガレン＝カレラ《ヴァイナミヨインとアイノ》

ナショナル・ロマンティズムの作品に見られるフィンランドの自然やライフスタイルは、トーヴェ・ヤンソンの『ムーミン』シリーズに描かれた情景とも合致します。本展覧会では、第1章・第2章を通じて、トーヴェ・ヤンソンの『ムーミン』原画など14点を展示し、『ムーミン』に描かれた世界から、フィンランドのくらしとデザインのキーワードを探ります。また、トーヴェ・ヤンソンの「画家」としての活動にも注目、日本初公開の油彩画も出品されます。



7. アクセリ＝ガレン＝カレラ《交響詩「コン・サガ」の作曲家ペルウス＝伝説》
8. エリエル＝サーリネン《ペラ図家のリュウ》
1. ベッカ・ハロネン《冬の松》1908年 メリタ美術館 photo ©Art Foundation Merita / 2. アンティ・ファヴェン《夏至祭の踊り》1911年 メリタ美術館 photo ©Art Foundation Merita / 3. アクセリ＝ガレン＝カレラ《大カレワラのためのデザイン原画》1920年代 ガレン＝カレラ美術館 photo ©The Gallen-Kallela Museum 第45会場のみで展示 / 4. アクセリ＝ガレン＝カレラ《ヴァイナミヨインとアイノ》1890年 個人蔵 photo ©Finnish National Gallery/Central Art Archives/Hannu Aaltonen / 5. トーヴェ・ヤンソン《若い女性(自画像)》1942年 スオミ相互保険会社 photo ©Rauho Träskelin / ©Estate of Tove Jansson / 6. トーヴェ・ヤンソン《シャンデリアと先祖様を見上げるムーミン》(挿絵画) 1957年 タンベレ市立美術館 ムーミンコレクション photo by Jari Kuusenoja / Tampere Art Museum Moominvalley & Moomin Characters / 7. アクセリ＝ガレン＝カレラ《交響詩「コン・サガ」の作曲家ペルウス＝伝説》1894年 アイノ財団 photo ©Finnish National Gallery/Central Art Archives/Hannu Aaltonen 第45会場のみで展示 / 8. エリエル＝サーリネン《ペラ図家のリュウ》1904年 メリタ美術館 photo ©Art Foundation Merita



5. トーヴェ・ヤンソン《若い女性(自画像)》

6. トーヴェ・ヤンソン《シャンデリアと先祖様を見上げるムーミン》

エリエル・サーリネンの建築やインテリア、ガレン＝カレラらがデザインした家具を、作曲家ジャン・シベリウス、小説家アレクシス＝キヴィらナショナル・ロマンティズムを彩った作家たちの生活とともに紹介、フィンランドのモダン・デザインにつながっていく作家たちの創造性やライフスタイルを展覧します。

2. フィンランド・デザインの黄金時代～森を糧とする豊かな生活とグッド・デザイン～

自然とともにあるくらし、民族叙事詩『カレワラ』の神話的世界、ナショナル・ロマンティズムを土壌に育まれたフィンランドのモダン・デザインは、20世紀中頃に黄金期を迎えます。第2章では、20世紀中盤のデザイン界に革新をもたらした、今日のフィンランド・デザインの礎を築いたデザイナーとブランドの功績を、100点以上のデザイン・プロダクトとともに紹介します。



1. アルヴァ・アアルト《アームチェア「バイミオ」》

2. アルヴァ・アアルト《木エリリーフ》

3. アルヴァ・アアルト《アームチェアNo.402》

4. アルヴァ・アアルト《ペンダントランプNo.A330S》

現在もモイッタラの人気定番製品である「ティーマ」や「カルティオ」などを生み出したデザイナー、カイ・フランクの陶器とガラス器を紹介し、実用性と美しさ、汎用性を兼ね備えた彼のデザインが日々の食卓にもたらした「豊かさ」について検証します。



5. カイ・フランク《ティーマシリーズ》

6. カイ・フランク《タンブラーシリーズ》

7. マイヤ・イソラ《生地「キヴェット」》

8. マイヤ・イソラ《生地「ウニコ」》

世界的なファッション・ブランドであるマリメッコのファブリックと衣装を、草創期の1950年代から円熟期の1970年代まで展示、ヴォッコ・ヌルメスニエミやマイヤ・イソラ、アンニカ・リマラマリメッコのデザイナーたちが、自由かつ斬新なアイデアで創造したテキスタイルの数々を展覧します。

3. フィンランド・デザインの「今」が示すこと～森とともにある都市～

第3章では、アアルト大学による太陽光発電エコ住宅(Luukku House)プロジェクトや、HKL(ヘルシンキ市交通局)とHSL(ヘルシンキ広域交通)が開発する公共交通でのヴィジュアル・デザイン、イテラ社(フィンランド郵政)のコミュニケーション・デザインの取り組み、アルテックの2nd Cycleプロジェクトなど、2000年代の活動を取り上げます。「グッド・デザイン」が「持続可能な社会」の実現につながっていくという、フィンランドのデザイン理念と国際社会に向けた提案を、最新のデザインの取り組みを通じて紹介します。



9. アルヴァ・アアルト+アルテック社《2nd Cycleプロジェクトで収集したスツール》

10. アアルト大学建築学部木工コース《Luukku House 完成予想レンダリング》

11. イオナイロットゥ+ベトリ・サルメラ+エーヴラ・シヴラ《切手デザイン》(フィンランド郵政切手シリーズ「フィンランド・デザイン:クラシック編」)

12. サンタ・タスキネン《切手デザイン》(ミニチュア・シート切手「カイ・フランク生誕100年」)

13. ヘルシンキ広域交通《各種ピクトグラム》

1. アルヴァ・アアルト《アームチェア「バイミオ」》1932年 アルヴァ・アアルト美術館 photo ©Majja Holma / Alvar Aalto Museum / 2. アルヴァ・アアルト《木エリリーフ》1947年 アルヴァ・アアルト美術館 photo ©Majja Holma / Alvar Aalto Museum / 3. アルヴァ・アアルト《アームチェアNo.402》現行製品(プロトタイプ1933年) ©Artek / 4. アルヴァ・アアルト《ペンダントランプNo.A330S》現行製品(プロトタイプ1939年) ©Artek / 5. カイ・フランク《「ティーマ」シリーズ》現行製品(プロトタイプ1979-1980年) ©Iittala / 6. カイ・フランク《タンブラーシリーズ》現行製品(プロトタイプ1955年) ©Iittala / 7. マイヤ・イソラ《生地「キヴェット」》現行製品(デザイン1956年) ©Marimekko Corporation / 8. マイヤ・イソラ《生地「ウニコ」》現行製品(デザイン1964年) ©Marimekko Corporation / 9. アルヴァ・アアルト+アルテック社《2nd Cycleプロジェクトで収集したスツール》プロジェクト開始2007年 ©Artek / 10. アアルト大学建築学部木工コース《Luukku House 完成予想レンダリング》2010年 ©Aalto University, Department of Architecture, Wood Programme / 11. イオナイロットゥ+ベトリ・サルメラ+エーヴラ・シヴラ《切手デザイン》(フィンランド郵政切手シリーズ「フィンランド・デザイン:クラシック編」) 2000年 フィンランド郵便博物館 ©Post Museum, Helsinki / 12. サンタ・タスキネン《切手デザイン》(ミニチュア・シート切手「カイ・フランク生誕100年」) 2011年 フィンランド郵便博物館 ©Post Museum, Helsinki / 13. ヘルシンキ広域交通《各種ピクトグラム》 ©HSL